

学校名	山本小学校		
ホームページURL http://www.iidanet.or.jp/~yamasc		児童・生徒数	325名
(1) テーマ 題材名 「ごみダイエット大作戦」 ・ごみを減らすために、クラスとしてどんなことをすればよいだろうか テーマの分類 (①ーウ)		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 4 年	
(3) 活動のねらい ①ごみ・リサイクル問題に関心を持ち、自ら課題を見つけることができる。 ②ごみの量を減らすための方法を考えることができる。 ③ごみ・リサイクルのことについて、いろいろな方法で調べることができる。 ④校内、家庭、地域へ情報を発信し、学習したことを伝えることができる。 ⑤リサイクルの大切さが体感できるようにする。			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） ①活動内容 ア ごみの分別活動をしよう。 イ、ごみステーションの様子を調べよう。 ウ、リサイクル可能な物を調べよう。 エ、リサイクルして物を作ろう。 オ、全校に向かって発表しよう。 ②学習方法 ・社会科学習後、ごみやリサイクルについてもう一度調べてみたいことをもとに、個々の調査テーマを決めさせていく。 ・個々に調査した結果を発表し合う中で、共通課題（ごみを減らすにはどうすればよいか）を見つけさせていく。 ・ごみを減らすためにどうすればよいか、個々に調査したり体験したりした結果をもとに提案し合う。 時数 (30時間)			
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） ・学習のすすめ方については、総合的な学習の研究班で検討し合う。 ・学級担任が主に指導をするが、ごみ収集の実際については関係者の話を聞く。 ・情報アドバイザー（コンピュータ学校の先生）とTT体制で授業を行う。（インターネットで必要な情報を得たいとき・パソコンにまとめる時）			
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） ・社会科学習（ごみと住みよいくらし）の発展として、学習を進める。 ・その時期に集中して、時間のまとめ取りをする。 ・活動の見通しを立てる話し合いを持ち自ら課題設定ができるようにする。			
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） ①評価内容・その時間における活動のねらいが達しているかどうか。 ②評価方法・子どもたちが書いた作文や新聞などを使っての評価 ・一時間ごとの自己評価、相互評価 ・ポートフォリオ評価			
(8) 成果と課題 成果 ・調べたりまとめたりする力が伸びた。 ・発表力がついた。 課題 ・コンピュータをもっと自由に調べたりまとめたりできるようにする。			

※テーマの分類 ①横断的・総合的な課題（①ーア 国際理解 ①ーイ 情報 ①ーウ 環境 ①ーエ 福祉・健康 ①ーオ その他） ②児童生徒の興味・関心に基づく課題 ③地域や学校の特色に応じた課題